



梅島小だより

「運動会を通して」

副校長 鯉沼 哲

5月26日(土)、今年度は創立130周年を迎えての、記念すべき春季大運動会を実施することができました。当日は、天候にも恵まれ、たくさんの保護者、地域の方にご来校いただき、子どもたちへの温かな声援をたくさんいただきました。ありがとうございました。

今年度の運動会も子どもたち一人一人が真剣に演技に取り組み、たくさんの感動を与えてくれました。子どもたちも自分たちの競技や演技に十分に満足し、とてもいい表情で運動会を終えることができました。

このように素晴らしい当日を迎えられた背景には、子どもたち一人一人の頑張りがありました。入学してから2カ月しかたっていない1年生は、初めて小学校の広い校庭で、競技をしたり、踊りを踊ったり、毎日、学年での練習を積み重ねたたくさんのことを身につけ成長しました。他の学年の子どもたちも、授業での練習だけでなく、休み時間や放課後を使って練習に取り組んできました。その練習は、自分の演技を高めていくことのためにに行っていることはもちろんなのですが、友だち同士で教え合ったり、動き方を伝えあったりしている場面も何度も見ることができました。

また、応援団や金管クラブの子どもたちは、朝の練習や放課後練習を積み重ね、当日を迎えることができました。練習中の子どもたちの様子を何度も見ましたが、やらされているという意識ではなく、「自分たちで創り上げていくぞ。」という気持ちがあふれていました。

私たち教職員は、この運動会を通して、子どもたちに『力を合わせて一つのものを創り上げていく大切さ』『頑張っただけ練習すればできるようになるという自信』『演技や競技をやり終えたときの達成感』を味わわせたいと考え子どもたちと向き合ってきました。当日の子どもたちの素晴らしい演技を見ることができ、それを確かなものと受け止めることができました。

そして、なによりこの創立130周年記念の本校の運動会を支えていただいたのは、子どもたちの演技をご参観いただき、温かい声援を送っていただいたり、準備や片づけをお手伝いいただいたりして、梅島小の子どもたちのためにご協力くださった保護者、地域の皆様です。どうもありがとうございました。心より御礼申し上げます。